

船舶事故等調査報告書

平成21年1月29日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008仙第22号									
事故等名	貨物船第二上組丸運航阻害									
発生年月日時	平成20年8月17日 01時05分ごろ									
発生場所	宮城県金華山灯台から真方位185° 6.3M付近海上 (北緯38° 10' 20"、東経141° 34' 20" 付近)									
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年10月1日仙台・地方事故調査官が海難報告書を精査 原因関係者からの意見聴取:意見なし									
認定した事実										
船種・船名・総トン数	貨物船第二上組丸 498トン									
船舶番号	132346									
船舶所有者等	上組海運株式会社									
乗組員等に関する情報	船長 四級海技士(航海)									
負傷者	負傷者なし									
損傷	船体に凹損及び推進器に損傷									
事故等の経過	本船は、空船で青森県八戸港を出港し、茨城県鹿島港に向けて航行中、平成20年8月17日01時05分ごろ、船体に衝撃が2度あった。ただちに機関を停止し、バラストタンク、船内、機関を点検して異常はなかったが、機関を全速後進にかけるとかなりの振動が発生した。 当時、天候は雨で風力3の北東風が吹き、うねりの高さは約3mであった。									
事実を認定した理由	<table border="0"> <tr> <td>気象・海象の関与</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>乗組員等の関与</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>船体・機関等の関与</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>判明した事項の解析</td> <td>本船が、海図W79による水深が115～120mの海域を航行中、船体に衝撃を2度受けた可能性があると考えられる。</td> </tr> </table>	気象・海象の関与	なし	乗組員等の関与	なし	船体・機関等の関与	なし	判明した事項の解析	本船が、海図W79による水深が115～120mの海域を航行中、船体に衝撃を2度受けた可能性があると考えられる。	
気象・海象の関与	なし									
乗組員等の関与	なし									
船体・機関等の関与	なし									
判明した事項の解析	本船が、海図W79による水深が115～120mの海域を航行中、船体に衝撃を2度受けた可能性があると考えられる。									
原因	本インシデントは、本船が航行中、船体等が何らかの水中浮流物に接触したため、船体及び推進器が損傷したことにより発生した可能性があると考えられる。									
その他の事項	なし									